

## 小郡市市政功労者・社会功労者表彰

11月4日、平成22年度市政功労者・社会功労者表彰を行いました。(敬称略)

### ○市政功労者

- ・市議会議員として16年在職し市政振興に貢献した者  
内野哲朗(古飯) 森山喬介(西島)
- ・市議会議員として12年在職し市政振興に貢献した者  
井上準一(光行) 赤坂博則(東福童)

### ○社会功労者

- ・社会福祉事業等民生の安定に努めた者  
権藤シゲ子(三国が丘1)
- ・保健衛生、地域医療の振興に努めた者  
蒲池春壽(津古) 小郡市健康を守る母の会
- ・地域の環境改善、美化に努めた者  
東原一馬(古飯)



- ・学術、芸術、体育その他教育、文化の振興に努めた者  
黒岩芳文(古飯) 小野浩一(三沢)
- ・交通安全、災害の防止救助等に努めた者  
西岡真也(井上) 平田昭広(緑)

## 秋の叙勲 (敬称略)

- ・瑞宝小綬章 吉田久良(三国が丘1)

## スイーツフェスタ2010



▲3メートルのロールケーキのカットの様子

10月24日、生涯学習センターで今年で3回目を迎える小郡市商工会青年部によるスイーツフェスタ2010が開催されました。

開始30分前から大勢の人が並び、オープニングイベントで来場者に振舞われた3メートルのロールケーキカットには、約300人もの行列ができていました。

七夕ホール内で販売された和洋菓子コーナーには、次から次へと来場者が訪れ、お昼頃にはほとんどのスイーツが売り切れてしまうほどの盛況ぶりでした。

また、七夕ホール内ではミュージシャンによる音楽演奏が行われ、来場者たちは心地いい音楽に耳を傾けながら、お気に入りのスイーツを手にとっていました。

## まちの話題

### 宝満川美化「ノーポイ」運動



◀陸上競技場駐車場にあつめられたゴミ

10月24日(日)に実施した「ノーポイ」運動では、雨天にも関わらず、多くの宝満川流域住民の方や関係団体の皆様にご参加いただき、堤防や河川敷の清掃作業を行うことができました。また、「コカ・コーラ九州物流センター」・「青壽苑」・「小郡市建設業協同組合」・「東福童老人クラブ」等の一般団体からも多数のご参加をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

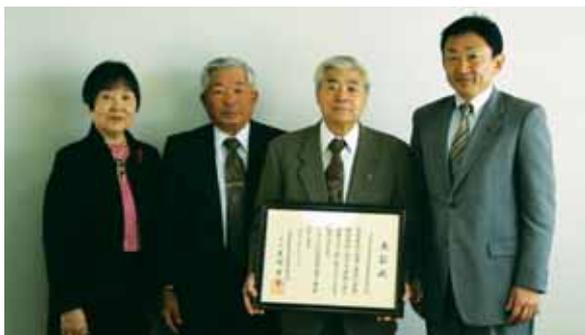
回収したゴミの量は、「燃えるゴミ」700kg、「不燃物ゴミ」290kg、「空ビン」350kg、「粗大ゴミ」120kgでした。天候の関係で時間が限られた中での作業でしたが、宝満川全体にわたる美化作業となりました。

小郡市では、今後も河川愛護に力を入れ、ポイ捨てされたゴミの無い、きれいで親しみやすい宝満川を目指して努力していきます。

◎問い合わせ先 建設管理課 ☎72-2111内線314

# まちの話題

## 全国民生委員児童委員連合会長表彰受賞



▲平安市長に報告を行った(左から)土谷副会長、寺田副会長、安永会長

小郡市民生委員児童委員協議会(安永茂歳会長)が、優良民生委員児童委員協議会として全国民生委員児童委員連合会の会長表彰を受賞しました。

この表彰は、全国の市区町村の中から84団体に贈られ、福岡県からは小郡市とみやこ町の2団体が受賞したものです。

主に、高齢者に対する安否確認、声かけ訪問等を行う「ふれあいネットワーク活動」や、児童委員と一体となって行う「学校訪問」「見守り活動」などが高い評価を受けて今回の受賞に至りました。

11月8日、市長に受賞報告された民生委員の安永さんは、「区長さんや地域のボランティアさんのご協力をいただいで今日の活動があります」と話されました。市長は「おめでとうございます。これからも頑張ってください。」と激励しました。

## 新端間橋 地元見学会



▲新端間橋ふれあいパークの様子

11月7日(日)、主要地方道鳥栖朝倉線バイパスの「新端間橋」の地元見学会が行われました。新端間橋は平成25年の通行を予定して現在建設が進められています。

この日は、地域住民に親しんでもらおうと「新端間橋ふれあいパーク」と称して、新しい橋の上でパネル展示やちびっこスケッチ会、クレーン車の試乗会などが催され、子どもから年配の方まで多くの地元住民が訪れました。

参加した子どもたちは、秋晴れの空の下、橋から見える風景を画用紙や橋面に描いて、橋からの眺めを楽しんでいました。

パネル展示で鳥栖朝倉線完成予想図を見た二森区の方は「橋に登れるなんてめったにない機会なのでよかった」「完成が楽しみです」と話していました。

## 子どもたちのために図書寄贈



▲清武教育長へ目録を贈る中村元太センター長(写真右)

11月11日、各種化学製品製造・輸入販売や関連研究開発を行っている、ダウ・ケミカル日本株式会社(本社・東京)小郡開発センター(中村元太センター長)より、小郡市の子どもたちのために、50万円相当の理科教育関係の図書が寄贈されました。平成12年から毎年続いている多くの図書の寄贈によって、小郡市の子どもたちは理科教育図書にとっても恵まれた環境にあります。

中村元太センター長は、「子どもたちの理科離れが進んでいるが、こういった取組を通して、日本の科学が発展しやすい環境作りに貢献したい。」と話されました。今後、寄贈を受けた図書は、市内の小中学校を巡回し、子どもたちに読まれる予定です。

## 慰問活動 2000 回達成



▲2000回を達成した池田繁さん(左)と相棒のケンちゃん

松崎の池田繁さん(85)が、特技の手品や腹話術でお年寄りや子どもたちの施設への慰問活動を続けて、11月3日で通算2000回の慰問を達成しました。陸上自衛隊在職中の39年前から慰問を始め、現在では「小郡ふれあい仲間の会」のメンバーと一緒に、月に3~4回の慰問活動をしています。

11月8日、池田さんは、出演のたびに作るというお手製の懸垂幕と、相棒のケンちゃんと一緒に2000回達成の報告に平安市長を訪問。池田さんは「見てくれる人が喜ぶためにやっている。そして私もみんなから元気をもらっています。身体の続く限り、次は2100回を目指し頑張ります」と報告しました。平安市長は「とても元気いっぱいですね。これからも長く頑張ってください」と激励しました。